

マーケットの動き（2023年10月23日～10月27日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。

長期金利は一時5%を上回りましたが、次第に持ち高調整の買いが優勢となりました。25日発表の9月米国新築住宅販売件数の強い伸びを受け一時金利は上昇しましたが、その後発表された米国物価指標においてインフレ鈍化基調と受け止められ、金利低下で週を終えました。

欧州国債市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。

投資環境見通し（2023年10月）

長期金利は、米国、欧州（ドイツ）ともに上昇圧力の強い状況が続く

米国：労働需給の緩和や住宅市場の減速からコアインフレ率の鈍化が進むとみられますが、原油価格の上昇からインフレの再加速に対する懸念もあり、長期金利は上昇圧力の強い状況が続くとみえています。

欧州：ECB（欧州中央銀行）は、景気減速に配慮しつつもインフレの高止まりへの対応を重視するとみられることから、ドイツ長期金利は上昇圧力の強い状況が続くとみえています。

	10月27日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	4.83	▲0.09	0.21	1.30	0.88
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース(騰落率)	542.89	0.24%	▲0.10%	5.63%	2.72%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

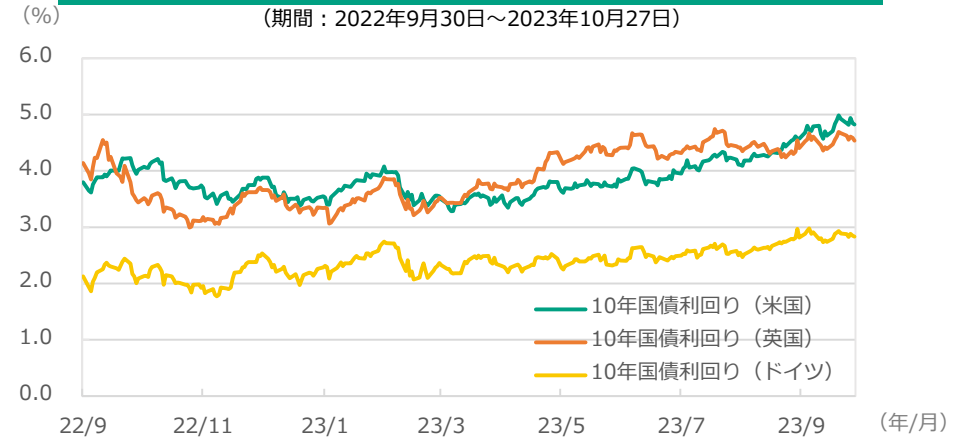
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202310_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移

（期間：2022年9月30日～2023年10月27日）



FTSE世界国債インデックスの推移

（期間：2022年9月30日～2023年10月27日）



※2022年9月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成